



2022年11月28日

日本鉄道労働組合連合会

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」第18回総会 新規加入4名を加えた新体制を確認！！

11月16日、JR連合の政策活動をはじめとする各種活動に賛同し連携する国会議員で構成された「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」の第18回総会を開催した。当日は榛葉賀津也会長や泉健太副会長、伴野豊副会長をはじめ、衆参43名の国会議員と議員秘書合わせて約70名が参画したほか、今回は3年ぶりにJR各単組の地方本部等からも代表者を招き、総勢約120名が参加の総会となった。

総会の司会は小川淳也事務局長が務め、今次参院選を経ての新規加入や新役員体制等を確認し、衆参56名（衆35名、参21名）の新体制が発足した。

その他の議案として、JR連合が抱える政策や組織に関する課題を執行部から提起した。特に政策課題については、鉄道の輸送量が戻りつつあるものの、未だJR産業は安心できる状況にないことを訴えるとともに、そのため持続可能な地域公共交通構築のための支援が必要であることや、JR北海道の黄色線区問題及びJR貨物における北海道新幹線の並行在来線問題が直近では大きな課題となること、JR各社の一つの収入の柱とするためにも高速鉄道ネットワークの構築が不可欠であり、そうした提言を今後行っていくことを説明し、具体的な支援も要請した。



＜新規加入議員＞

三上 えり	参・広島県【無所属】
竹詰 仁	参・比例区【国民】
柴 慎一	参・比例区【立憲】
辻元 清美	参・比例区【立憲】

「地方議員団連絡会」第28回総会も同日に開催！

同16日、議員フォーラム総会の前段で、「地方議員団連絡会」の第28回総会も開催し、代表幹事の中田利幸米子市議をはじめとする連絡会役員および各議員団会議の代表者、JR連合執行部、JR連合政治対策委員である各単組の委員長らが出席した。

議員フォーラム総会と同様、当面するJR連合の政策課題を執行部より説明するとともに、連絡会員に対し、地域公共交通の実態把握に関する要請、とりわけ道府県訪問の取り組み要請を行った。最後に新たな連絡会役員体制を確認し、来る統一地方選勝利に向けた意思統一を図り、連絡会総会を締め括った。



＜JR連合地方議員団連絡会役員＞

代表幹事	中田利幸	米子市議會議員
幹事	菅原和忠	北海道議會議員
幹事	世古口新吾	前・伊勢市議會議員
幹事	山本悟史	香川県議會議員
幹事	松尾哲也	大牟田市議會議員
幹事	堀内武治	元・掛川市議會議員